

ご挨拶

ようこそ、七尾中学校のホームページに、お越しくございました。本校は、昭和24年(1949年)4月に開校し、これまで1万4千人を超える生徒を送り出した、地域の伝統校です。地域の方に愛され、支えられ、教育活動を実践してまいりました。

本校が開校以来、守り続けているのが、校訓「感・考・行」の具現化を目指した教育活動です。校訓が定められた73年前の日本は、民主国家の実現と経済復興をめざし、感性豊かで、思考力や行動力を備えた人材が求められていたように推察されます。そのような時代背景のもと、校訓「感・考・行」は定められたものと思います。この校訓は、決して古臭いものではなく、時代の転換点にあると言われている令和の現在こそ、私たちに求められている資質・能力であると考えます。

本校にお越しいただいた方から、よくこのような声をいただきます。「七尾中学校の生徒は、気持ちのいいあいさつをしてくれる」「七尾中学校の校舎は掃除が行き届いていて、気持ちがいい」と。私も本校に赴任した際、きれいになっている廊下を見て、生徒が一生懸命に掃除をする姿を想像できました。また、実際にその通りでした。本校では、学年の枠を超えた「縦割り掃除」を実践しています。その中で、単に学校をきれいにするというだけでなく、生徒会の一員として、学校を支えている一人なんだという自覚を育みます。「あいさつ」も、先輩の姿から後輩が学び受け継いでいきます。日常生活の中に、校訓「感・考・行」を活かそうとする工夫があります。こうした伝統を受け継ぐことは、七尾中学校で生活をしている教職員と生徒の使命です。

このような生活の基盤の上に、授業の中で、課題を感じ気づき、自分の頭で考え、主体的に行動するための資質・能力を育むことが、本校の伝統を前進させるために必要な取り組みであると考えています。コロナ禍にある現在だからこそ、急速に社会が変化する現在だからこそ、校訓「感・考・行」を具現化するための教育活動を、充実させてまいりたいと思います。

今後とも、七尾中学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年4月吉日

廿日市市立七尾中学校 校長 岡本 純一郎